



メタセコイヤ



東広島市立風早小学校 学校だより No. 4
令和8年7月15日

文責：校長 竹野 政彦

防災訓練！「なぜ、ここに？」

6月22日（月）、地震・津波を想定した防災訓練を行いました。まずは、地震発生放送を聞き、机の下に隠れました。揺れがおさまった後、グラウンドの正門側へ避難しました。その後、津波警報が発表されたことを想定し、高台にある浄福寺の駐車場まで全校で避難しました。児童は「おはしもち」を守りながら、真剣に移動していました。

浄福寺の住職さんからお話をいただいた後、担当の先生、校長先生から、東日本大震災での避難の様子や最近の火事などの話を聞きました。「ところで、なぜ、グラウンドの端に避難したのかな？」

「なぜ、ここ浄福寺に避難したのかな？」といった問い掛けに対し、「校舎から離れた方が安全だから。」「津波から逃げるためには、高いところがいいから。」など、しっかり考えて答えていました。避難場所や避難方法だけでなく、落ち着いて行動できる児童、理由を考えながら判断できる児童を目指しています。



1年生の給食試食会

7月3日（金）、児童の給食の様子を1年生保護者に参観していただきました。教室では、1年生が、おいしい給食を自分たちで配膳し、お行儀よく、モリモリと食べていました。その後、1年生の保護者には、給食を試食していただき、他校の栄養教諭から最近の食事情や児童の様子を聞いていただきました。ご協力、ありがとうございました。



8月の予定

6日（木）

- ・全校登校
- ・平和学習
- ・10:25下校

7日（金）

- ・プール開放終了

10日（月）

- ・一斉閉庁

12日（水）～14日（金）

- ・一斉閉庁

26日（水）

- ・前期後半開始
- ・13:10下校

「特別の教科 道徳」の授業を参観！



7月3日（金）、全学年の保護者の皆様には、授業を参観していただきました。本年度も3か月が経過しました。各学級児童は、課題に対して一生懸命に考えていました。第5・6学年は机を向け合い、自分ならどうするのか、話し合っていました。道徳では、各発達段階に応じ、いろいろな立場や場面で物事を多面的・多角的に考え、自分の生活と結び付けていくことを目指しています。相手の立場を理解し、自分のことも大切にしながら協力し合う児童になってほしいです。



地域児童会

アルミ缶の資源回収も！ぜひ、協力してください！

7月3日（金）、授業参観に続き、PTA主催による地域児童会が、各部団ごとに行われました。地域の危険箇所や連絡事項を確認し、児童の夏季休業に向けた地域体制が整いました。夏季休業中、何かありましたら、学校までお知らせください。【風早小学校：0846-45-0052】

野外活動！今度こそ！



6月25日（木）・26日（金）に予定していた第5学年の野外活動は、大雨のため延期になりました。何とか再予約を取ることができ、7月16日（木）・17日（金）に国民宿舎野呂高原ロッジに行てきます。5年生は、友だちとの絆を深めてきます。

校長室からちょこっと！

保護者の皆様、花壇の草取りや草刈りなど、ありがとうございました。助かりました。

児童の成長を支える上で、大切にしたいものがあります。それは、「できるかもしれない。」と思える気持ちです。自己有能感（やればできると思える感覚）や自己肯定感（自分には価値があると思える感覚）と呼ばれているものが関係します。これらは、新しいことに挑戦するときの原動力となります。

一方で、失敗体験や否定的な経験が重なり「どうせやっても無駄だ。」と感じてしまう状態を学習性無力感と言います。これは、挑戦する気持ちが弱くなってしまった状態です。分からない経験を繰り返すと、理解しようとしなくなり、できない経験を繰り返すと、頑張ろうとしなくなり、やってもらう経験を繰り返すと、自分でやろうとしなくなります。

本校は、「挑戦する学校」です。「できるかも！」と思う経験の積み重ねと、みんなに「見守られている！」という安心感を大切にします。

「できた」ことはもちろん「できそうだね。」といった物事の過程を認めること、「大丈夫。」「応援しているよ。」と伝えること、夏休みを迎えるに当たり、ご家庭でも、この二つについて、ご協力いただけるとありがたいです。

